

## 「ステップA 地域のなりたい姿と課題を明確にする」では何をするのか？

- 最初のステップA 地域のなりたい姿と課題を明確にするは、4つのステップからなります。
- 観光を活用した持続可能な地域経営に取り組むに当たって、「将来、どのような地域になりたいのか(=なりたい姿)」というゴールを明確にします(なりたい姿が明確になってはじめて、現状の姿とのギャップの背景にある課題がはっきりします)。

### ステップA 地域のなりたい姿と課題を明確にする

#### 実現ステップ

地域のなりたい姿と課題  
を明確にする

#### ステップA

##### ステップ1 対象地域を決める

- ✓ 観光を活用した持続可能な地域経営の対象地域を決めます。  
(自治体の範囲が基本、総合計画や観光ビジョン・観光計画等の地域区分も参考に決定)

##### ステップ2 利害関係者を特定し、参画させる

- ✓ 対象とした地域の利害関係者をリストアップし、参画候補者を選出します。  
(地域のことを最もよく理解している「住民」の参画が不可欠)
- ✓ 参画候補者に対してワーキンググループや場合によってはシンポジウムを開催し、観光を活用した持続可能な地域経営への理解を促進し、参画を呼びかけます。

##### ステップ3 観光資源と「現状の課題」を洗い出し、把握する

- ✓ 地域の資産の中で、利害関係者が評価している観光資源とそれらの観光資源に関する問題点を明確にします。

##### ステップ4 なりたい姿を共有し、「今後の課題」を明確にする

- ✓ 地域が望む未来を明確にし、なりたい姿を決定します。
- ✓ 「現状の課題」(現状すでに発生している課題)に加えて、なりたい姿を実現するために解決すべき「今後の課題」(これから発生しそうな今後の課題)について、ワーキンググループで議論し、共有します。